



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第25回例会(1月25日)  
平成31年2月1日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 坂本広行  
川徳デパート内 幹 事 藤村吉隆  
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代) 会 報 吉田幸一  
例 会 日 毎週金曜日12時30分～ クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682  
http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ BE THE INSPIRATION:インスピレーションになろう…バリー・ラシン  
盛岡RC会長テーマ -80年の歴史と伝統、繋いでいこう奉仕と友情-坂本広行



新入会員卓話

## 改めて自己紹介

菅原 浩幸 君

昨年の7月の納涼家族会の際に海野プログラム委員長からご指名をいただき、会員の皆様に卓話をさせていただく機会をいただきました。大変ありがたいことですが、なにぶんにも昨年の4月に入会させていただいて、まだ9ヶ月ほどの在籍で、皆様にお話できるような話題もないので、改めて自己紹介をエピソード交えながら、させていただきたいと思っております。

私は、昭和36年(1961年)9月16日生まれで、現在57歳です。私が生まれたこの日は、第2室戸台風が室戸岬に上陸し、大阪湾岸に大きな被害が発生しました。気象庁のホームページによると、「台風は、16日9時すぎ室戸岬の西方に上陸した。13時過ぎには兵庫県尼崎市と西宮市の間に再上陸、18時に能登半島東部に達し日本海に出た。日本海沿岸を北北東に進み、北海道西岸をかすめてサハリン付近からオホーツク海に進んだ。室戸岬(高知県室戸市)では最大風速66.7m/s(最大瞬間風速84.5m/s以上)、大阪で33.3m/s(同50.6m/s)など、各地で暴風となった。」とのことでした。

4年ほど前に亡くなった母からは、「あなたが生まれた日は、台風が来て風の大変強い日で、近所の木が倒れるのではないかと心配したものだ。」と聞かされていました。

私が生まれた場所は当時の自宅で、現在の岩手大学の正門の向かいの上田三丁目でしたので、近所の木とは当時、馬場があったあたりの岩手大学

の木であったと思われます。ちなみに私には2歳半程年上の姉がおり、姉のときは病院での出産でしたが、私のときは姉の面倒を見るため母は自宅での出産を選択したとのことでした。

私の父は、現在の矢巾町出身で国民学校を卒業後、国鉄盛岡鉄道管理局盛岡保線区の職員として勤務していましたが、昭和24年(1949年)7月に定員法により退職し、土木建設系の会社に勤務し、その後、自宅の半分を会社として改装し、昭和42年(1967年)に独立しました。当時の上田三丁目界隈を富士見町と呼んでいたこともあり、社名を富士水工業としたとのことでした。

富士見町と言う名称は、岩手山の眺めが良くて、別名の南部片富士から命名したものと推察されますが、旧地名ではなかったようで、その名称の由来は不明ですので、お分かりになる方がいらっしゃれば、教えていただきたいところでもあります。

昭和41年(1966年)に近所の幼稚園に通うことになりました。その幼稚園は、盛岡三育幼稚園といいまして、岩手大学の南門の近くで、昭和29年(1954年)に設立・開園された、聖書の教えに基づき、徳育・知育・体育を教育目標としたキリスト教系の幼稚園でした。両親は特にキリスト教の信者ではなく、単に近所にあった幼稚園に通わせてただけだと思います。今のところ私もキリスト教信者ではなく、会社の新春祈願は、坂本会長の桜山神社をお願いをしているところでもあります。残念

ながら幼稚園は、昨年の3月で園児数減少に伴う経営難から開設から64年で閉園となってしまいました。

ちなみに、この度の卓話に関して三育幼稚園の閉園記念誌を確認したところ、幼稚園のご近所で産婦人科医をされている西島次期会長が第2回卒園生であり、「るろうに剣心」や「3月のライオン」の映画監督として有名な大友啓史氏が私の5年後輩に当たることが判明いたしました。

昭和43年（1968年）に、幼稚園を卒園後、盛岡市立上田小学校に入学しましたが、昭和44年（1969年）に父の仕事が軌道に乗ることにより、上田三丁目の自宅を全面的に会社として建て替えることにより、自宅は青山四丁目に引っ越すこととなり、昭和45年（1970年）1月に前年の4月に開校したばかりの盛岡市立城北小学校に転校しました。

開校当時の城北小学校は1～4年生までで、第2期工事のため、1・2年生は青山小学校舎3・4年生は本校舎で授業を受けていましたが、私が転校したタイミングで1・2年生も新しい校舎に移ったのです。ちなみに姉は、私より3学年上の5年生でしたので、青山小学校への転校となり、姉弟で別の小学校に通うという珍しいことになっていました。

かつての青山・月が丘・みたけ地区は、戦後新しく誕生した町なみであり、戦時中は観武ヶ原と呼ばれた広大な練兵場があったという歴史を歩んだ地でありましたが、昭和45年の秋の国民体育大会の開催に合わせて急激に開発が進み、周辺には岩手県営総合運動公園・県営体育館・県営スケート場・県営武道館などがあり、スポーツ施設が集中しており、週末などは各施設で様々な大会等が開催されています。

私の小学生時代は、友達と草野球をしたり、冬は県営スケート場でスケートをしたり、近所の珠算教室でそろばんを習ったりして、当時としては平均的な子供として育てられたと思います。幼稚園のころから背は高い方でしたが、ガキ大将という訳でもなく、ずば抜けて成績や運動神経がよいわけでもなく、どちらかというとおとなしい子どもでした。ただ、頼まれるといやといえない性格で、結構学級委員などの役を引き受けていました。

今は、周りの人に迷惑をかけないように、能力以上の役割は引き受けないようにしておりますので、あまり頼まないようにお願いします。

昭和49年（1974年）に小学校卒業後に、2年前に開校したばかりの盛岡市立北陵中学校に入学しました。私が入学したときに3学年が揃ったという新しい学校で、盛岡市の学校なのに所在地が当時の滝沢村にあり、城北小学校と同様に岩手国民体育大会の開催を契機に、住宅開発が進みベッドタウンとして大きく変貌をとげ、小中学校の生徒数の増加に対応したものと思われます。中学校でも、姉は厨川中学校で、姉妹で別の学校に通うことになりました。

北陵中学校では、部活動は体格を生かしてバスケットボール部に所属していましたが、その才能はあまりなかったようで、3年生になってもレギュラーになることはありませんでしたが、いじめにあうこともなくそれなりに楽しい学生生活だったと思っています。

昭和52年（1977年）に中学校3年生になると、いよいよ人生初の試練（？）となる高校受験を迎えます。父は、仕事の関係でお世話になる方々に盛岡工業高等学校の卒業生が多かったとのことで、盛岡工業高校に進んで欲しかったようですが、母が将来経営者を志すのであれば、より高度な専門の知識を得るために、大学進学を目指して普通高校への受験をすべきと父を説得し、岩手県立盛岡第一高等学校を受験することになりました。残念ながら、その年の高校受験はあえなく不合格となり、人生初の挫折を味わうことになりました。志望校1校のだけの受験でしたので、中学浪人をする事となり、当時、大沢川原にあった龍澤予備校に通いました。高校受験に不合格の際は、かなり落ち込みましたが、予備校に通いだすと同様に不合格だった同い年の学生がかなりの人数でおり、孤独感は薄れ、来年の受験へのモチベーションが上がってきました。

昭和53年（1978年）の2度目の高校受験は、さすがに二浪することは出来ないので、私立高校を3校と盛岡第一高等学校を受験し、無事に志望校に合格することが出来ました。

盛岡第一高等学校は、明治13年（1880年）に盛岡市内丸に「公立岩手中学校」として設立され、大正6年（1917年）に現在の上田に移転し、近所に住んでいた頃は、身近で憧れの学校だったと記憶しています。

高校生活では、厳しい運動部に入るつもりはありませんでしたが、程々の運動はしたいと思い、適当な運動部を物色していたところ、同じ予備校から入学した同期生が登山部に入部することと、私も入部することにしました。今でこそ、盛岡一校の登山部は県の高校総体でも上位の成績で、女子にいたっては全国インターハイで優勝するくらいの強豪校ですが、当時は女子部員どころか部員不足で、存続の危機を迎えていたので、大丈夫だろうと高をくくっていました。しかしながら、本格的な部活動が始まると、7～8人いた新入部員は、ゴールデンウィークの前後で次々と退部してしまい、夏合宿を迎える頃には私の学年では私ひとりとなってしまい、同じ中学から同じ予備校に通い、一緒に合格し割りと仲の良かった友人にお願いして、夏合宿に参加してもらうことになりました。彼は、なぜかアイスホッケー部に入部していたので、夏休みは特に予定はなく、快く引き受けてもらいましたが、その代わりに、冬は私がアイスホッケー部の活動を手伝うことになりました。これが、アイスホッケーとの出会いであり、大学でもアイスホッケー部に所属し、途中やらないシーズンもありましたが、現在も社会人のクラブチームに所属し、通算で40年くらい、アイスホッケーを続けているきっかけとなっています。

話は変わりますが、高校1年生のときに、野球部の甲子園出場が決まり、大型バスの車中泊それも2泊で甲子園球場に応援に行ったのは、懐かしい思い出です。あれから、40年以上甲子園出場を果たしていませんが、ぜひ現役野球部には、がんばって欲しいものです。

昭和55年（1980年）の高校3年生のときに、高校創立100周年を迎えました。親には申し訳ないのですが、最終学年で100周年を迎えることが出来たので、初めて浪人して良かったのではと思ったものでした。

本業の勉強の方は、もともと、要領のいい方ではないので、高校時代の進みの早い授業についていけず、成績は下位を低迷し、大学受験では苦勞することが明白で、親元を離れて自立したいのと大学でもアイスホッケーを続けたかったので、アイスホッケー部のある大学を探していたところへ、東京の武蔵工業大学（現在の東京都市大学）の推薦案内が来ていたので、推薦を受けて入学しました。

昭和56年（1981年）に入学した大学での学科は、工学部機械工学科です。現在の仕事との関連でいえば、建築工学科のほうが良かったのではと思いますが、推薦を受ける際に、父に事業を継承するのにどの学科を希望すればよいのかと聞いたところ、機械で良いのではとの助言を受けたからですが、後で冷静に考えると、大学には行っていない父親に助言を求めたのはいかがなものだったのかと反省しています。

大学入学後は、当然、アイスホッケー部に入部しました。これもまた当然、成績は超低迷です。成績表で優の数、数科目程度だったと思います。

昭和60年（1985年）に、そのような成績でも留年することなく、無事に卒業に漕ぎ着け、設備工事業界では大手の新菱冷熱工業株式会社という会社に入社することが出来ました。バブル景気の直前でまだ就職難の時代でしたが、運が良かったと思っています。

ちなみに、就職面接の際に、親の職業を聞かれて正直に答えると採用されないのではと思い、思わず、「サラリーマンです。」と嘘をついてしまったので、その後に親の職業がばれた時、くびになるのではと、どきどきしたものです。

1ヶ月の東京での研修のあと、東北支社に配属され、仙台と山形で現場を担当しました。

入社して4年目のお盆に帰省した際に、父から戻って来いと言われ、当時担当していた現場の完成後に退職をして、平成元年（1989年）に父親の経営する会社に入社しました。

父親の会社では、常務取締役の役職をいただいて、平成7年（1995年）には専務取締役となり、平成17年（2005年）12月に代表取締役となり、今

に至っております。

最後に、私の名前は、浩幸と言いますが、「浩」の字は戸籍上では「口」の上の部分が「牛」という字で、旧字体のようですが、このことに気付いたのは平成になってからで、会社の業務上の何かの登録をする際に市役所の支所に戸籍か住民票を請求する際に申請書に通常の字体で書いた私の名前の字が違うとの指摘を受けて判明しました。私は、社会人になってから自分で住民票を移したこともありましたが、その際にはそのような指摘は無く、なぜ今頃になってそのような指摘を受けるのだろうかという疑問と、もともとの戸籍になぜその字を使っているのかという疑問を持ちました。母に聞いてもわからないとのことでしたが、ど

うやら父が私の出生届を出す際に新旧の字体を認識していたとは思えませんが、旧字体の字で出したのだろうという結論に至りました。「口」の上の部分の書き順を「土」で書くか、「牛」で書くかの違いだったのかもしれませんが、役所からの今頃の指摘に関しては、人名用漢字の変遷との関連がありそうに思えますが、詳細は今のところ不明です。

新入会員のあまりドラマチックでもないエピソードをお聞きいただいて、ありがとうございます。今後も、仕事もロータリー活動もがんばって参りますので、よろしく願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

例会報告

第25回例会  
平成31年1月25日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 坂本広行会長
- ・ロータリーソング  
(手に手つないで)
- ・ビジター 南部利文さん(会友)
- ・会長報告 坂本広行会長
- ・皆出席バッチ 荻野忠良君(5年)
- ・入会祝 佐藤重昭・荻野忠良君
- ・幹事報告 藤村吉隆幹事
- ・委員会報告

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡西R.C.=  
2月7日(休)は新年会・年祝い会のため 18:30~ 駒籠

【ニコニコBOX】

- ◆風間忠男会友…盛岡ロータリークラブ創立80周年を寿ぎ、ニコニコさせて頂きます。
- ◆飯塚肇君…テニス全豪オープン、準決勝をサービスエースで勝利した大坂なおみにニコニコします。明日の決勝戦、全米オープンに次ぐグランドスラム2回目の優勝を果たせば、日本人として初めての世界ランキング一位となります。

苦しんで苦しんでベスト8まで勝ち進んで、天敵ジョコビッチとの試合を途中棄権した錦織圭にもニコニコします。第4試合、ツーセットダウンから劇的逆転でフルセットに持ち込んだ5時間6分におよぶ死闘のタイブレークを、最後サービスエースで決めた錦織は、やはり中一日では体が戻らなかった。しかし、その集中力と忍耐力は素晴らしいと思います。

- メイクアップ  
仙台青葉R.C.=橋本君。  
盛岡北R.C.=福田君。  
クラブ委員会=  
畠山・片桐・三田君

出席報告

会員数/77名

出席数/46名

出席率/62.16%

前々回/84.00%



プログラムのお知らせ

- ・2月1日(金) 新入会員卓話 田村賢一会員  
「しがない公認会計士税理士の士が有る在る或る話」
- 8日(金) 第3回クラブアッセンブリー
- 15日(金) 卓話
- 23日(土) 創立80周年記念式典(22日例会変更)
- ・3月1日(金) 卓話
- 8日(金) 卓話

●本号編集担当/長谷川 桂